

令和5年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	保健医療分野におけるAI研究開発加速に向けた人材養成産学協働プロジェクト			担当部局庁	高等教育局	作成責任者		
事業開始年度	令和2年度	事業終了(予定)年度	令和6年度	担当課室	医学教育課	医学教育課長 俵 幸嗣		
会計区分	一般会計							
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	経済財政運営と改革の基本方針2019(令和元年6月閣議決定) 統合イノベーション戦略2019(令和元年6月閣議決定) 厚生労働省「保健医療分野AI開発加速コンソーシアム 議論の整理と今後の方向性」(令和元年6月) 自由民主党 人工知能未来社会経済戦略本部「人工知能を駆使した未来社会に向けて」(令和元年6月) AI戦略2021(令和3年6月統合イノベーション戦略推進会議決定)			
政策	4 個性が輝く高等教育の振興			主要経費	科学技術振興費、その他の事項経費			
施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上							
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseik02-000017742-4_1.pdf							
事業の目的 (5行程度以内)	将来にわたって国民に質の高い保健医療サービスを提供していくためには、人工知能(AI)を含めた科学技術を保健医療分野において開発・推進できる人材を養成することが必要不可欠であり、保健医療分野におけるAI研究開発を進めるべき「重点6領域」について人材養成に取組む大学を支援することにより、保健医療分野でのAI実装に向けた新たな教育拠点を構築する。							
現状・課題 (5行程度以内)	保健医療分野においては、患者等に関する多様な医療データを活用した人工知能(AI)技術の社会実装の実現性が高いものも多くあり、新たなAI技術開発と利活用が期待できる分野として、今後、人材養成を含めた取組を強化することが期待されている。将来にわたって、個々の患者に対して最適な医療や安全な医療を提供していくためには、AIを含めた科学技術を保健医療分野において開発・推進できる人材を養成することが必要不可欠であり、我が国における医療技術の強みの発揮と保健医療分野の課題の解決(医療情報の増大、医師の偏在や働き方改革等)の両面からAI研究開発を進めるべき領域(重点6領域)を中心とした保健医療分野におけるAI研究開発を加速するための支援と対策が必要とされている。							
事業概要 (5行程度以内)	医療系学部を有する大学を中心に、保健医療分野におけるAI研究開発(重点6領域)について、民間企業・団体等の協力を得て、医療現場のニーズ・知見を用いてAI技術開発を推進する医療人材を養成する。また、医療現場における医療データを活用した機械学習や企業等におけるAI技術の課題解決への応用を学ぶ等、保健医療分野でのAI実装に向けた新たな教育拠点を構築する。 【補助率:定額補助】							
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryoku/1383121_00004.htm							
実施方法	補助							
補助率等	事業に対する補助金配分額は、補助期間最終年度の前年は当初配分額の2/3、最終年度は1/3に通減し、自己負担比率を高める。							
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の状況	当初予算(A)	202	201	201.1	133.7	-	
		補正予算(B)	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し(C)	-	14	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 14	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	188	215	201.1	133.7	-	-
執行額(G)	187	215	201.1					
執行率(%) =(G)/(F)	99%	100%	100%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	93%	107%	100%					
令和5-6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)	研究拠点形成費等補助金			※補助期間最終年度の前年は当初配分額の2/3、最終年度は1/3に通減			
	(目)	研究拠点形成費等補助金	134					
		諸謝金	0					
		委員等旅費	0					
		その他	0	-				
	計(A)	133.7	-					

活動内容① (アクティビティ)	選定大学を対象に、民間企業・団体等の協力を得ながら、医療現場のニーズ・知見を用いて保健医療分野におけるAI研究開発を推進する医療人材を養成する拠点を形成する取組を支援する。																															
↓																																
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標 AI研究開発推進専門医療人材を養成するための大学院教育プログラムの開設	活動指標 教育プログラム実施数	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>5年度 活動見込</td> <td>6年度 活動見込</td> </tr> <tr> <td>活動実績</td> <td>件</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>当初見込み</td> <td>件</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </table>		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	活動実績	件	2	5	5	5	-	当初見込み	件	-	5	5	5	5								
	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込																										
活動実績	件	2	5	5	5	-																										
当初見込み	件	-	5	5	5	5																										
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	選定大学において開設された大学院教育プログラムの評価のため、履修する学生の数を短期アウトカムとして設定する。																														
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標 大学院教育プログラムの実施に伴う専門人材の養成	定量的な成果指標 教育プログラム履修人数	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>目標年度 6年度</td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td>人</td> <td>19</td> <td>24</td> <td>86</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>人</td> <td>-</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>133.3</td> <td>430</td> <td>-</td> </tr> </table>		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度	成果実績	人	19	24	86	-	目標値	人	-	18	20	30	達成度	%	-	133.3	430	-					
	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度																											
成果実績	人	19	24	86	-																											
目標値	人	-	18	20	30																											
達成度	%	-	133.3	430	-																											
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	年度末に各選定大学に作成を依頼する「保健医療分野におけるAI研究開発加速に向けた人材養成産学協働プロジェクト」の翌年度の事業計画書及び当該年度の取組状況調査により翌年度の5月をメドに目標と実績を測定する。目標については当初設定した実績も踏まえて必要に応じて更新を検討する。																															
↓	成果目標①-2の 設定理由 (長期アウトカム からのつながり)	選定大学において開設された大学院教育プログラムの評価のため、長期アウトカムとして履修する学生の成果物の数を設定する。																														
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標 事業実施に伴う成果の発表による学生が身に付けた能力の発揮	定量的な成果指標 事業実施に伴う成果の延べ数	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>目標最終年度 6年度</td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td>件</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>件</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>322</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 6年度	成果実績	件	-	-	-	-	目標値	件	-	-	-	322	達成度	%	-	-	-	-					
	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 6年度																											
成果実績	件	-	-	-	-																											
目標値	件	-	-	-	322																											
達成度	%	-	-	-	-																											
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	年度末に各選定大学に作成を依頼する「保健医療分野におけるAI研究開発加速に向けた人材養成産学協働プロジェクト」の翌年度の事業計画書及び当該年度の取組状況調査により翌年度の5月をメドに目標と実績を測定する。目標については当初設定した実績も踏まえて必要に応じて更新を検討する。																															
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由																															
-																																
アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由																																
-																																

活動内容② (アクティビティ)	選定大学を対象に、民間企業・団体等の協力を得ながら、医療現場のニーズ・知見を用いて保健医療分野におけるAI研究開発を推進する医療人材を養成する拠点を形成する取組を支援する。								
↓									
活動目標及び活動実績② (アウトプット)	活動目標 AI活用に係る基礎的な知識・技能を身に付けた医療人材を養成するための履修証明プログラムや、研修コースの開設	活動指標 履修証明プログラムや、研修コースの開設数	活動実績 当初見込み	単位 件	令和2年度 1	令和3年度 4	令和4年度 4	5年度 活動見込 4	6年度 活動見込 -
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり) 選定大学において開設された履修証明プログラムや研修コースの評価のため、短期アウトカムとして履修する学生の数を設定する。								
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)	成果目標 履修証明プログラムや、研修コースの実施に伴うAI活用に係る基礎的な知識・技能を身に付けた医療人材の養成	定量的な成果指標 履修証明プログラムや、研修コースの履修人数	成果実績 目標値 達成度	単位 人	令和2年度 83	令和3年度 238	令和4年度 630	目標年度 6年度 -	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	年度末に各選定大学に作成を依頼する「保健医療分野におけるAI研究開発加速に向けた人材養成産学協働プロジェクト」の翌年度の事業計画書及び当該年度の取組状況調査により翌年度の5月をメドに目標と実績を測定する。目標については当初設定した実績も踏まえて必要に応じて更新を検討する。								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり) 選定大学において開設された履修証明プログラムや研修コースの評価のため、履修した学生の科目数を設定する。								
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)	成果目標 医療機関におけるAI研究・活用に関する基礎知識の醸成	定量的な成果指標 履修生が受講した科目数	成果実績 目標値 達成度	単位 件	令和2年度 -	令和3年度 -	令和4年度 -	目標最終年度 6年度 -	
アウトカム設定についての説明	年度末に各選定大学に作成を依頼する「保健医療分野におけるAI研究開発加速に向けた人材養成産学協働プロジェクト」の翌年度の事業計画書及び当該年度の取組状況調査により翌年度の5月をメドに目標と実績を測定する。目標については当初設定した実績も踏まえて必要に応じて更新を検討する。 アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由 - アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由 令和6年度で本事業の終了を予定しているため								

活動内容③ (アクティビティ)	選定大学を対象に、民間企業・団体等の協力を得ながら、医療現場のニーズ・知見を用いて保健医療分野におけるAI研究開発を推進する医療人材を養成する拠点を形成する取組を支援する。								
↓									
活動目標及び活動実績③ (アウトプット)	活動目標 事業の成果や取組状況の普及	活動指標 選定大学が実施する情報発信数		単位 件	令和2年度 -	令和3年度 -	令和4年度 -	5年度 活動見込 -	6年度 活動見込 -
			活動実績 当初見込み	件	-	-	-	92	92
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	選定大学の教育プログラムの普及について確認するため、選定大学が行うシンポジウムやセミナー等に参加する大学数をアウトカムに設定する。							
		成果目標及び成果実績③-3 (長期アウトカム)	成果目標 保健医療分野のAI研究開発を中心とした教育プログラムの普及	定量的な成果指標 選定大学が実施するシンポジウムやセミナー等の参加大学数		単位 校	令和2年度 39	令和3年度 123	令和4年度 209
			成果実績	校	38	45	82	92	
			目標値	校	102.6	273.3	254.9	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	年度末に各選定大学に作成を依頼する「保健医療分野におけるAI研究開発加速に向けた人材養成産学協働プロジェクト」の翌年度の事業計画書及び当該年度の取組状況調査により翌年度の5月をメドに目標と実績を測定する。目標については当初設定した実績も踏まえて必要に応じて更新を検討する。								
	アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
	-								
	アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								
アウトカム設定について の説明	令和6年度に本事業は終了することから、事業期間が非常に短期間でかつアウトカムが単一であることが適切であるため。								
	事業に関連する KPIが定められて いる関連決定等	名称	-						
		URL	-						
該当箇所	-								

**文部科学省
(201.1百万円)**

謝金:0.4百万円
委員等旅費:0.2百万円
庁費:0.2百万円 を含む

対象大学から申請のあった事業内容を審査の上、支援対象とする取組を選定し、補助金を交付する。

【補助金等交付】

**A.大学(全2大学)
(200.3百万円)**

各大学が連携しキャリアパスの構築までを見据えた体系的な教育を実施するなど、教育を活性化することで法医学分野における優れた基礎研究医を養成する。

【分担金】

B.連携大学(全4大学)

申請担当大学と相互に連携・補完をして優れた医療人材を養成する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
分担金	連携2大学への分担金		39.3	人件費・謝金	准教授・事務補佐員雇用経費	13.4
間接経費	光熱費等		23.1	旅費・その他	出張費・諸経費等	4.6
人件費・謝金	助教・事務補佐員雇用経費等		21.5	物品費	設備備品費・消耗品費	3.4
旅費・その他	出張費・諸経費等		13.9			
物品費	設備備品費・消耗品費		2.2			
計			100	計		21.4

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

